



平成30年4月10日

学び合いの大切さ

希望を胸に新1年生が入場しました。4月6日（金）入学式のことです。うれしさいっぱいです、席についてからも周りが気になります。式辞や祝辞の間も喜びにあふれ、落ち着かない様子です。小学校生活初日の特別な状況のことですから当然のことです。そんな新入生全員がしっかりと集中した場面が2つありました。

児童代表による新入生歓迎の言葉を聞いているときです。6年生の代表2名が話し始めると新入生は姿勢を正します。優しく全身で語りかける2人の姿に39人の視線は集中しています。歓迎の気持ちをしっかりと伝えたいと準備をしてきた代表児童の願いが、この集中につながっています。

もうひとつは、ブラスバンドによる歓迎のアトラクションのときです。フラッグ隊の切れのある動きに瞬きすら忘れているようです。軽快な楽器の音に耳をそばだてています。2曲の演奏の間、集中力は絶えません。入学式に花を添えたいと昨年度から練習を重ねてきた成果が、この集中力につながっています。

上級生が新入生のよさを引き出してくれました。子供同士だからこそ、この2つの集中を生んだのだと思います。

また、全校児童の元気な校歌に思わず振り返る新入生も多くいます。やはり、お兄さんお姉さんがやっていることには興味をもちます。教師や親などの大人が語るより、子供同士で関わる方が、ずっと伝わることがあると思いました。これから学校生活で、友達やお兄さんお姉さんと関わり、たくさんのこと学んでほしいと願います。

あらゆる教育活動の中で子供同士の学び合いの機会を大切にし、本校に通う全ての子供たちが立派に成長できるよう支援していきます。そして、保護者の皆様や地域の皆様の期待に応えられるよう努めます。



〈児童歓迎の言葉〉



〈ブラスバンドの演奏〉